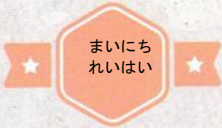


れいはいはさいこうのしゅくぶ



わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

でんどうしゃに たいする きょうくん



いのり _____

しかいしゃ

しとしんじょう _____

みんなで

さんび _____ さんびか 507 ばん (しゅのこころにしたがい) けいやくのりよてい (2018 ねんこどもさんび)



せいしよ _____

I テモテ 3:1

I テモテ 3:1 「人がもし監督の職につきたいと思うなら、それはすばらしい仕事を求めることである」ということばは真実です。



みことば _____ エペソに はけんされた テモテ _____

しかいしゃ

かみさまよ
神様に呼ばれたテモテは、キリスト・イエスの中で、きよい心と正しい良心と偽りのない信仰とから出て来る愛を信徒に伝えました。そして、契約に従って、信仰の善良な戦いをしました。かみさまひとあいだちゅうかいしゃ
神様と人の間の仲介者であるイエス・キリストによって力を受けて、礼拝をして、いのり、みことばを悟る真理を知っていました。

でんどうしゃよ
伝道者テモテは、良いわざを熱心に求めて、信じる者の模範になりました。弱い人たちが、ひはんあくま
批判と悪魔のわなにかからないようにするためでした。

かみさまつと
神様がくださった務めをりっぱに果たすなら、栄光の地位にとどまるようになり、イエス・キリストに対する信仰について強い確信を持つことができるようになります。そして、多くのひとい
人を生かすことができますでしょう。

いのり _____

いっしょに おおきなこえで
いのりましょう



ちちなる かみさま、ありがとうございます！ わたしを せかいふくいんかの でんどうしゃとしてよんでくださって ありがとうございます。かみさまが くださる みことばを いのりでしんこうの たたかひをして おおくのひとを いかしたいです。 たすけてください。イエス・キリストの おなまえに よって おいのりします。 アーメン

しゅのいのり _____ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう



フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
✓ チェックしよう げつよう かよう すいよう もくよう きんよう どのよう

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう



げつようび

みつかいは みな、
つかえる れいであって、
すくい の そうぞうくしゃと
なる ひとびとに
つかえるため
つかわされたのでは
ありませんか。

きりはりしよう

ちよき ちよき

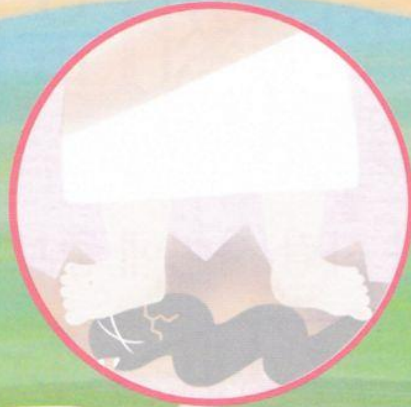
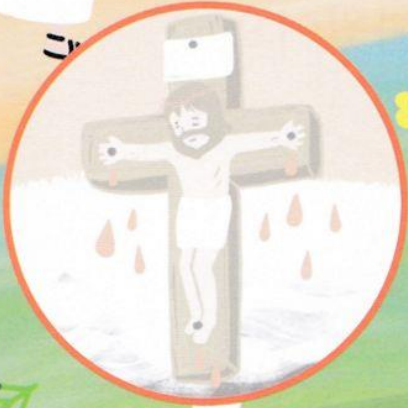
きって はりましょう



わたしは ちゅうかいしゃである イエス・キリストを とおして
かみさまに であえます。 イエス・キリストによって ちからを うけて、
れいはいを するとき しんりを しるようになり しんこうの
つよい かくしんをもつようになります。わたしの なかに おられる
イエス・キリストを かんがえながら したの えを かんせい
させましょう。

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ

イエスは キリスト



イエスは かれに いわれた。
「わたしが みちであり、
しんりであり、いのちなのです。
わたしを とおしてでなければ、
だれひとり ちちの みもとに
くことは ありません。
(ヨハネ 14:6)

ひとのこが きたのも、
つかえられる ためではなく、
かえって つかえるためであり、
また、おおくの ひとのための、
あがないの だいかとして、
じぶんの いのちを あたえる
ためなのです。(マルコ 10:45)

つみを おかしている ものは、
あくまから だた ものです。
あくまは はじめから つみを
おかしているからです。
かみのこが あらわれたのは、
あくまの しわざを うちこわす
ためです。(1ヨハネ 3:8)



イエスは かれに いわれた。
「わたしが みちであり、
しんりであり、いのちなのです。
わたしを とおしてでなければ、
だれひとり ちちの みもとに
くることは ありません。
(ヨハネ 14:6)

ひとのこが きたのも、
つかえられる ためではなく、
かえって つかえるためであり、
また、おおくの ひとのための、
あがないの だいかとして、
じぶんの いのちを あたえる
ためなのです。(マルコ 10:45)

つみを おかしている ものは、
あくまから だた ものです。
あくまは はじめから つみを
おかしているからです。
かみのこが あらわれたのは、
あくまの しわざを うちこわす
ためです。(1ヨハネ 3:8)

かくしんさがし

はい！
わたくしです！

かくしの ないようを こころに きざみましよう

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましよう。



けいやくに したがって、

しんこうの ぜんりょうな たたかいを
しました。

かみさまと ひとの あいだの ちゅうかいしゃで
ある イエス・キリストによって ちからを
うけて、れいはいを して、いのり、みことばを
さとる しんりを していました。

でんどうしゃテモテは、よい わざを
ねっしんに もとめて、

しんじるものの もはんになりました。



さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう



しとパウロは テモテに いつも きよい ころと ただしい
りょうしんと いつわりのない しんこうとから でてくる あいを
かたり、 けいやくに したがって ぜんりょうな たたかいを
するようと いいました。しんこうの たたかいを するために
かみの すべての ぶぐを みにつけましょう。
したの えを きれいに いろを ぬりましょう。

じゅんぴするもの | いろをぬる どうぐ

かみの

ぜんしんの

ぶぐ



パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

あきには おおくの ひとが おはかまいを する じき (おひがん) が
あります。 かぞくや しんせきに ぐらぞうすうはいを する ひとが
いるかを みてみましょう。 パパとママと ぜんりょうな たたかいを
することと、 しょうりすることについて はなしを しましょう。
わたしも ぜんりょうな たたかいを しょうりするには
どうしたら よいのか えか じで ひょうげんしましょう。

21

きんようび





たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ところに きざみましょう



かんこくでは いまの じきになると ソンピョンという だんごを
つくって たべます。 わたしたちも ソンピョンを つくりながら
ふくいんの はなしを わかちあいましょう。(なかに 入れる あん：
イエス・キリストの ち、 まわりの しろい もち： つみを
ゆるされた わたしたち) わたしたちの ところに イエス・キリストの
ちが あるなら わたしたちは しろく つみを ゆるされた かみのこどもです。

じゅんぴするもの | こめこ、みず (ぬるまゆ)、しお、あん、ごまあぶら。

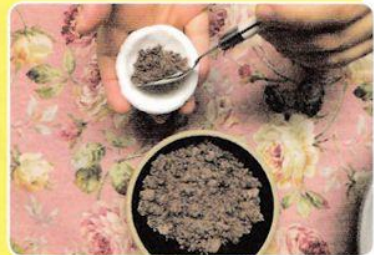


ソンピョンを つくろう

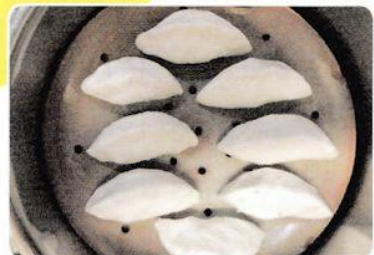


こめこに しおを すこし いれ ぬるまゆを すこしずつ いれて みみたぶの
かたさに なるまで こねます。

*ぬるまゆを つくったり ひを つかうときは パパとママに てつだって もらいましょう。



きじを ほそながく きって わけて ひとつずつ まるく ひろげて
うつわを つくり なかに あんを 入れます。



はんげつの かたちに きれいに つつみます。
できあがった ソンピョンを むしきに 入れて むして さいごに
ごまあぶらを かけて たべます。

